



経済協力開発機構 (OECD)

Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD)

国際教員指導環境調査 (TALIS) 2018

Teaching and Learning International Survey (TALIS) 2018

教員質問紙

中学校

本調査版

日本語版

国内調査実施 : 文部科学省国立教育政策研究所

国際コンソーシアム :

国際教育到達度評価学会 (IEA) (オランダ、ドイツ)

オーストラリア教育研究所 (ACER) (オーストラリア)

カナダ統計局 (カナダ)

国際教員指導環境調査（TALIS） 2018 について

国際教員指導環境調査（TALIS）2018 は、校長及び教員の皆様に、教育分析や教育政策の進展の一助を担っていただく国際調査です。TALIS は経済協力開発機構（OECD）によって実施されており、日本は他の 40 以上の国とともにこの調査に参加しています。

調査で得られるデータの国際分析により、自国と同様の課題に直面している国がどこなのかが明らかになり、他国の政策から学ぶことが可能になります。校長及び教員の皆様には、これまでに受けた職能開発、自身の教育に対する信念や教育実践、教職についての概観、職務へのフィードバックや評価、その他、学校のリーダーシップ、運営管理、職場の問題などに関する様々な事柄について情報を御提供いただきます。

TALIS では、参加国の様々な指導の実態を明らかにすることを目的としています。教育へのアプローチは、国によって、また個々の教員によって異なっていると思われる。御自身の仕事の内容や御意見を、皆様の専門知識に基づいてできるだけ正確にお答えください。

国際調査であることから、日本の事情に必ずしもそぐわない質問があるかもしれませんが、それらの質問については、回答可能な範囲で記入していただければ結構です。

機密保持

この調査で集められた全ての情報は厳重に取り扱われます。国別及び学校種別のデータは公表されますが、この調査の結果に関するいかなる報告書においても、個人や学校が特定されることは決してありません。調査への参加は任意であり、いつでも取りやめることができます。

質問紙について

- ・ この質問紙では、学校教育や教育方針に関する情報をお尋ねします。
- ・ この質問紙は校長先生を対象としていますが、必要に応じて、あなたの学校の他の先生と相談の上、回答していただいても結構です。
- ・ この質問紙への回答に要する時間は、およそ 50～60 分間です。
- ・ 質問の多くは、当てはまるものを一つ選び○を付けて回答するものです。
- ・ この質問紙への記入が終わりましたら、校内締切日までに、校内担当者に御提出願います。
- ・ この質問紙及び調査に関して御不明な点等がありましたら、校内担当者を通じて国立教育政策研究所までお問い合わせください。

御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

先生御自身について

以下の質問は、あなた御自身、あなたの学歴、勤務経験に関するものです。質問への回答に当たっては、当てはまるものに○を付けるか、必要に応じて数字を記入してください。

問1 あなたの性別はどちらですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 男性
- 2 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。

数字を記入してください。

□□ 歳

問3 あなたの最終学歴は、以下のうちどれですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 中学校以下
- 2 高等学校
- 3 高等学校専攻科
- 4 短期大学・高等専門学校・専門学校
- 5 大学学部
- 6 大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院（例：教職大学院）
- 7 大学院博士後期課程

問4 あなたが受けた公的な教育や研修には、以下のことが含まれていましたか。また、授業でそれらを行う準備がどの程度できたと思われましたか。

(1)～(10)のそれぞれについて、(A)欄と(B)欄のそれぞれ当てはまるもの一つに○を付けてください。

	(A) 教育や研修の 有無		(B) 準備			
	含まれて いた	含まれて いなかった	全く できな かった	ある 程度 できた	できた	非常に 良く できた
(1) 担当するいくつか又は全ての教科の内容	1	2	1	2	3	4
(2) 担当するいくつか又は全ての教科の指導法	1	2	1	2	3	4
(3) 一般の指導法	1	2	1	2	3	4
(4) 自分の担当するいくつか又は全ての教科の 指導実践（教育実習、インターシップ）	1	2	1	2	3	4
(5) 様々な能力の生徒が混在する環境におけ る指導	1	2	1	2	3	4
(6) 多文化又は多言語環境における指導	1	2	1	2	3	4
(7) 教科横断的なスキルの指導（例：創造 性、批判的思考、問題解決）	1	2	1	2	3	4
(8) 指導のための ICT（情報通信技術）使用	1	2	1	2	3	4
(9) 生徒の行動と学級経営	1	2	1	2	3	4
(10) 生徒の発達や学習の観察・みとり	1	2	1	2	3	4

問5 あなたにとって、教員になる際に以下のことはどのくらい重要でしたか。

(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く重要ではない	あまり重要ではない	ある程度重要	非常に重要
----------	-----------	--------	-------

- (1) 継続的なキャリアアップの機会が得られること 1 2 3 4
- (2) 確実な収入が得られること 1 2 3 4
- (3) 安定した職業であること 1 2 3 4
- (4) 私生活での責任を果たすことを妨げない勤務スケジュールであること（例：勤務時間、休日、非常勤） 1 2 3 4
- (5) 教職に就けば、子供や若者の成長に影響を与えられるということ 1 2 3 4
- (6) 教職に就けば、社会的弱者の手助けができるということ 1 2 3 4
- (7) 教職に就けば、社会に貢献できるということ 1 2 3 4

問6 教職は、あなたの第一志望の職業でしたか。

「職業」とは、あなたの生涯にわたる仕事になると考えられる、報酬を伴う仕事を指します。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

現在の仕事について

問7 現在の学校におけるあなたの教員としての雇用形態は、以下のうちどれですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 終身雇用（定年以前に雇用の終了時期が定められていない継続的雇用）
- 2 1年を超える有期雇用契約
- 3 1年以下の有期雇用契約

問8 勤務時間に関して、あなたの教員としての現在の雇用形態は、以下のうちどれですか。

この学校での勤務時間と、あなたが勤務する全ての学校での勤務時間の合算（勤務校が1校の場合はこの学校での勤務時間と同じ）についてお答えください。

(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

常勤 (常時勤務の 90%を超える 労働時間)	非常勤 (常時勤務の 71-90%の 労働時間)	非常勤 (常時勤務の 50-70%の 労働時間)	非常勤 (常時勤務の 50%未満の 労働時間)
1	2	3	4

- (1) この学校での雇用形態 1 2 3 4
- (2) 全ての学校での勤務時間の合算 1 2 3 4

問9 常勤か非常勤に関わらず、あなたの勤務経験は何年ですか。

出産休暇、育児休業などの長期休暇・休業の期間は除外してください。(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまる数字を記入してください。

ない場合は0(ゼロ)と記入してください。

小数点以下は切り上げて、整数でお答え下さい。

- (1) 年 : 現在の学校での教員としての通算勤務年数
- (2) 年 : 教員としての通算勤務年数
- (3) 年 : 教員以外の他の教育関係の仕事（例：教育委員会の指導主事、大学教員、保育士）での勤務年数
- (4) 年 : その他の教育関係以外の仕事での勤務年数

問10 あなたは、現在、他の中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む。以下同じ）でも教員として勤務していますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問12へお進みください。

問11 問10で「はい」と答えた方は、この学校以外にいくつの中学校で勤務していますか。

数字を記入してください。

□□ 校

問12 あなたの中学校段階での担当授業全体において、特別な支援を要する生徒がどのくらいいますか。

「特別な支援を要する生徒」とは、精神的、身体的又は情緒的に困難な条件にあることによって、特別な学習を行う必要性が公式に認定されている生徒を指すものとします。（これらの生徒に対しては、多くの場合、その教育支援のために、公的あるいは民間からの何らかの追加的な(人的、物的、財政的)資源が提供されています。）

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 いない
- 2 数人
- 3 ほとんど全員
- 4 全員

問13 あなたが受けた公的な教育や研修には、以下の教科等が含まれていましたか。また、今年度あなたは以下の教科等を この中学校 で教えていますか。

(1)～(12)のそれぞれについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

	公的な 教育や研修に 含まれていた 教科	今年度、 中学校の生徒 に教えている 教科
(1) 国語	1	1
(2) 数学	1	1
(3) 理科	1	1
(4) 社会	1	1
(5) 外国語	1	1
(6) 技術	1	1
(7) 音楽・美術	1	1
(8) 保健体育	1	1
(9) 道徳	1	1
(10) 家庭	1	1
(11) 総合的な学習の時間.....	1	1
(12) その他	1	1

問14 直近の「通常の一週間」において、あなたの学校で求められている仕事に、合計でおよそ何時間（1時＝60分換算）従事しましたか。

指導（授業）、授業準備、採点、他の教員との共同作業、職員会議や職能開発への参加、その他の仕事に費やした時間を含みます。また、週末や夜間など就業時間外に行った仕事も含みます。

「通常の一週間」とは、休暇や休日、病気休業などによって勤務時間が短くならなかった一週間のことを指します。

四捨五入して時間単位で数字を記入してください。

合計時間

問15 この合計のうち、直近の「通常の一週間」において、およそ何時間（1時間＝60分換算）指導（授業）しましたか。

実際の指導（授業）時間のみを計算してください。授業準備や採点、職能開発などに費やした時間については、次の質問でお尋ねします。

四捨五入して時間単位で数字を記入してください。

時間

問16 直近の「通常の一週間」において、あなたは、この学校での以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。

週末や夜間など就業時間外に行った仕事を含みます。指導（授業）時間については前の質問でお尋ねしていますので、その時間は全て除外してください。

およその値で結構です。以下の仕事に従事なかった場合は、0（ゼロ）を記入してください。四捨五入して時間単位で数字を記入してください。

- (1) 時間 学校内外で個人で行う授業の計画や準備
- (2) 時間 学校内での同僚との共同作業や話し合い
- (3) 時間 生徒の課題の採点や添削
- (4) 時間 生徒に対する教育相談（例：生徒の監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導）
- (5) 時間 学校運営業務への参画
- (6) 時間 一般的な事務業務（教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務を含む）
- (7) 時間 職能開発活動
- (8) 時間 保護者との連絡や連携
- (9) 時間 課外活動の指導（例：放課後のスポーツ活動や文化活動）
- (10) 時間 その他の業務

職能開発

このセクションでは、「職能開発」を、教員としての技能、知識、専門性その他の資質を高めるための活動と定義します。

教員養成課程 後に、あなたが受けた職能開発についてのみお答えください。

問17 何らかの初任者研修に参加しましたか。

「初任者研修」とは、初任者に対する教職への導入を支援したり、又は経験がある教員に対する新しい赴任校への導入を支援したりする研修のことです。それらは、公式に体系化されたものと、非公式なものがあります。

(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

初任時に 参加した	この学校で 参加した	参加して いない
--------------	---------------	-------------

- (1) 公式な 初任者研修に参加した 1 1 1
- (2) 非公式な 初任者研修に参加した 1 1 1

(1)と(2)の両方で「この学校で参加した」に○を 付けなかった 場合→問 19 へお進みください。

問18 この学校での勤務を始めた時、初任者研修には、以下のような内容が含まれていましたか。

(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 対面式の講座やセミナー 1 2
- (2) オンライン上の講座やセミナー 1 2
- (3) オンライン上の活動（例：バーチャルコミュニティ） 1 2
- (4) 校長や経験豊富な教員との話し合いの設定 1 2
- (5) 校長や経験豊富な教員による監督指導 1 2
- (6) 他の新任者との交流及び連携..... 1 2
- (7) 経験豊富な教員とのチーム・ティーチング 1 2
- (8) 日誌、記録の作成 1 2
- (9) 指導上の負担の軽減 1 2
- (10) 一般的な学校事務の説明 1 2

問19 あなたは、現在、学校の公式の取組の一環として校内指導（メンタリング）に参加していますか。

「校内指導（メンタリング）」は、経験のある教員が経験の少ない教員を支援する仕組みのことです。学校内の全教員を対象にすることもあれば、初任者だけを対象にすることもあります。

教育実習中の学生のためのものは含みません。

(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 現在、自分を支援してくれる校内指導者（メンター）がいる 1 2
- (2) 他の教員の校内指導者（メンター）を務めている 1 2

問20 過去 12 か月 の間に、以下の職能開発に参加しましたか。

(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 対面式の講座やセミナー 1 2
- (2) オンライン上の講座やセミナー 1 2
- (3) 教員や研究者による研究発表、教育問題に関する議論をする会議 1 2
- (4) 公式な資格取得プログラム（例：学位課程） 1 2
- (5) 他校の見学 1 2
- (6) 企業、公的機関又は非政府組織（NGO）の見学 1 2
- (7) 学校の公式な取組である同僚の観察・助言又は自己観察、コーチング活動 1 2
- (8) 教員の職能開発を目的とする研究グループへの参加 1 2
- (9) 専門的な文書や書物を読むこと 1 2
- (10) その他 1 2

上記の全ての項目で「いいえ」と答えた場合 → 問 24 へお進みください。

問21 過去 12 か月 の間にあなたが参加した職能開発には、以下のことが含まれていましたか。

(1)～(15)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- | | | | |
|---|---|-------|---|
| (1) 担当教科等の分野に関する知識と理解 | 1 | | 2 |
| (2) 担当教科等の分野の指導法に関する能力 | 1 | | 2 |
| (3) カリキュラムに関する知識 | 1 | | 2 |
| (4) 生徒の評価方法 | 1 | | 2 |
| (5) 指導用の ICT（情報通信技術）技能 | 1 | | 2 |
| (6) 生徒の行動と学級経営 | 1 | | 2 |
| (7) 学校の管理運営 | 1 | | 2 |
| (8) 個に応じた学習手法 | 1 | | 2 |
| (9) 特別な支援を要する生徒への指導 | 1 | | 2 |
| (10) 多文化又は多言語環境における指導 | 1 | | 2 |
| (11) 教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力）..... | 1 | | 2 |
| (12) 生徒の評価の分析と利用 | 1 | | 2 |
| (13) 教員と保護者間の協力 | 1 | | 2 |
| (14) 文化や国が異なる人々とのコミュニケーション | 1 | | 2 |
| (15) その他 | 1 | | 2 |

問22 過去 12 か月 の間に参加した職能開発の中で、あなたの指導実践に良い影響を与えたものはありましたか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問 24 へお進みください。

問23 過去 12 か月 の間に参加した職能開発の中で、あなたの指導実践に 最も良い影響 を与えたものには以下のような特徴がありましたか。

(1)～(12)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) これまでの知識が深まった 1 2
- (2) 個人的な成長のニーズに合っていた 1 2
- (3) 研修の構成が一貫していた 1 2
- (4) 自分の担当科目の指導上必要な内容に、的確に重点が置かれていた 1 2
- (5) 主体的な学びの機会を与えられた 1 2
- (6) 共同学習の機会を与えられた 1 2
- (7) 自分の授業で新しいアイデアや知識を実践し、導入する機会を与えられた 1 2
- (8) フォローアップ活動があった..... 1 2
- (9) この学校で実施された 1 2
- (10) この学校の教員のほとんどが参加した 1 2
- (11) 長期間にわたって実施された（例：数週間以上） 1 2
- (12) 自分の授業に新しいものを導入することに重点が置かれていた 1 2

問24 以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を現在感じていますか。

(1)～(14)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全くなし	あまりなし	ある程度	高い
------	-------	------	----

- (1) 担当教科等の分野に関する知識と理解 1 2 3 4
- (2) 担当教科等の分野の指導法に関する能力 1 2 3 4
- (3) カリキュラムに関する知識 1 2 3 4
- (4) 生徒の評価方法 1 2 3 4
- (5) 指導用の ICT（情報通信技術）技能 1 2 3 4
- (6) 生徒の行動と学級経営 1 2 3 4
- (7) 学校の管理運営 1 2 3 4
- (8) 個に応じた学習手法 1 2 3 4
- (9) 特別な支援を要する生徒への指導 1 2 3 4
- (10) 多文化又は多言語環境における指導 1 2 3 4
- (11) 教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的
思考力、問題解決能力） 1 2 3 4
- (12) 生徒の評価の分析と利用 1 2 3 4
- (13) 教員と保護者間の協力 1 2 3 4
- (14) 文化や国が異なる人々とのコミュニケーション 1 2 3 4

問25 職能開発にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると思いますか。

(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 妨げに ならない	妨げに ならない	妨げに なる	非常に 妨げに なる
-------------------	-------------	-----------	------------------

- (1) 参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数） 1 2 3 4
- (2) 職能開発は費用が高すぎる 1 2 3 4
- (3) 雇用者からの支援が不足している 1 2 3 4
- (4) 職能開発の日程が自分の仕事のスケジュールと合わない 1 2 3 4
- (5) 家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない 1 2 3 4
- (6) 自分に適した職能開発がない 1 2 3 4
- (7) 職能開発に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない 1 2 3 4

フィードバック

あなたの学校で仕事に対して行われるフィードバックについてお尋ねします。

「フィードバック」とは、あなたの仕事に対する何らかの関与（例：授業観察、指導計画や生徒の成績に関する議論）に基づいて行われ、あなたの指導に関するコミュニケーションとして、広く定義します。

フィードバックは、非公式な話し合い、あるいは公的で組織的な手法のいずれによっても行われる場合があります。

問26 あなたの学校では、あなたは、以下の情報に基づくフィードバックをどなたから受けていますか。

「外部の個人又は機関」とは、例えば、文部科学省の関係者、地方自治体の関係者、その他の学校外の者を指します。

(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

外部の個人 又は 機関	校長又は 校長以外の 学校運営 チーム (例：運営 委員会) メンバー	学校運営 チーム メンバー 以外の 校内の同僚	受けた ことが ない
-------------------	---	-------------------------------------	------------------

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| (1) 授業観察 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (2) 私の指導に関する生徒へのアンケートの結果..... | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (3) 教科に関する知識についての評価 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (4) 指導している生徒の外部テスト（例：全国学力
調査）の結果 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (5) 学校内と学級内での生徒の成果（例：成績、プ
ロジェクトの成果、テストの点数）..... | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (6) あなたの自己評価（例：ポートフォリオ評価の
提出、ビデオを使った自身の授業分析）..... | 1 | 1 | 1 | 1 |

上記の全てについて、「受けたことがない」と回答した場合 → 問29へお進みください。

問27 過去12か月の間にあなたが受けたフィードバックの中で、あなたの指導実践に良い影響を与えたものはありましたか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問29へお進みください。

問28 過去 12 か月の間に受けたフィードバックは、あなたの指導に関する以下のような内容に対して、良い影響を与えましたか。

(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 主な担当教科等の分野に関する知識と理解 1 2
- (2) 担当教科等の指導法に関する能力 1 2
- (3) 生徒の学習改善につながる生徒評価の利用 1 2
- (4) 学級経営 1 2
- (5) 特別な支援を要する生徒への指導方法 1 2
- (6) 多文化又は多言語環境における指導方法 1 2

指導全般について

問29 以下のことは、あなたの学校の教員にどの程度当てはまるとお考えですか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 当てはま らない	当て はまら ない	当て はまる	非常に良く 当て はまる
-------------------	-----------------	-----------	--------------------

- (1) この学校のほとんどの教員は、指導や学習についての新しいアイデアを発展させる努力をしている 1 2 3 4
- (2) この学校のほとんどの教員は、変化に対して前向きである 1 2 3 4
- (3) この学校のほとんどの教員は、問題を解決するための新しい方法を模索している 1 2 3 4
- (4) この学校のほとんどの教員は、新しいアイデアを活用するために、互いに、実際に役に立つサポートをし合っている 1 2 3 4

問30 この学校で以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。

(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

行って いない	年に 1回以下	年に 2～4回	年に 5～10回	月に 1～3回	週に 1回以上
------------	------------	------------	-------------	------------	------------

- (1) 学級内でチーム・ティーチングを行う 1 2 3 4 5 6
- (2) 他の教員の授業を見学し、感想を述べる 1 2 3 4 5 6
- (3) 学級や学年をまたいだ合同学習を行う(例：プロジェクト) 1 2 3 4 5 6
- (4) 同僚と教材をやりとりする 1 2 3 4 5 6
- (5) 特定の生徒の学習の向上について議論する 1 2 3 4 5 6
- (6) 他の教員と共同して、生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める 1 2 3 4 5 6
- (7) 分掌や担当の会議に出席する 1 2 3 4 5 6
- (8) 専門性を高めるための勉強会に参加する 1 2 3 4 5 6

問31 あなたの指導において、以下のことは、どの程度できていますか。

(1)～(13)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く できて いない	いくらか できて いる	かなり できて いる	非常に 良く できて いる
------------------	-------------------	------------------	------------------------

- (1) 生徒に勉強ができるとう自信を持たせる 1 2 3 4
- (2) 生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする 1 2 3 4
- (3) 生徒のために発問を工夫する 1 2 3 4
- (4) 学級内の秩序を乱す行動を抑える 1 2 3 4
- (5) 勉強にあまり関心を示さない生徒に動機付けをする 1 2 3 4
- (6) 自分が生徒にどのような態度・行動を期待しているか明確に示す 1 2 3 4
- (7) 生徒の批判的思考を促す 1 2 3 4
- (8) 生徒を教室のきまりに従わせる 1 2 3 4
- (9) 秩序を乱す、又は騒々しい生徒を落ち着かせる 1 2 3 4
- (10) 多様な評価方法を活用する 1 2 3 4
- (11) 生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する 1 2 3 4
- (12) 様々な指導方法を用いて授業を行う 1 2 3 4
- (13) デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する（例：コンピュータ、タブレット、電子黒板） 1 2 3 4

対象学級における指導について

以下では、あなたの指導実践について詳しくお尋ねします。この質問紙では、あなたの指導実践の全体を取り上げることはできません。そこで、ここでは事例的アプローチを用いることとし、特定の学級における指導に焦点を当てることとします。

以下の質問では、あなたが教えている特定の学級についてお尋ねします。回答していただきたい特定の学級とは、先週の火曜日の午前 11 時以降、あなたが最初に教えた中学校の学級とします。もし、あなたがその日に中学校の学級を教えていない場合には、その翌日以降の中学校の学級が回答対象となります。以下の質問では、これを「対象学級」と表現することとします。

以下の質問では対象学級についてお答えください。

問32 対象学級の構成についてお尋ねします。以下の特性を持つ生徒の割合を推定してください。

(3)の「特別な支援を要する生徒」の定義については問 12 を参照ください

(5)の「社会経済的に困難な家庭環境」とは、住居や栄養、医療などの生活上必要な基礎的な条件を欠いている家庭環境のことをいいます。

(7)の「移民の生徒」とは、日本以外で生まれた人を指します。「移民の背景を持つ生徒」とは両親が日本以外で生まれた人のことを指します。

(8)の「難民」とは、法的な地位に関わらず、武力闘争、政治的抑圧、宗教迫害、自然災害などから身を守るために、国外へ避難した人を指します。

この質問は、生徒の背景についてのあなた 個人としての理解をお尋ねするものです。

およその 推定値 で回答していただいて結構です。生徒が複数の特性を持つこともあり得ます。

(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

なし	1% ～ 10%	11% ～ 30%	31% ～ 60%	61%以上
----	-------------	--------------	--------------	-------

- | | | | | | |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| (1) 母語が日本語ではない生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (2) 学業成績が低い生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (3) 特別な支援を要する生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (4) 問題行動を起こす生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (5) 社会経済的に困難な家庭環境にある生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (6) 学業に関して特別な才能のある生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (7) 移民の生徒、又は移民の背景を持つ生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (8) 難民の生徒 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問33 対象学級におけるあなたの指導は、ほとんど全てが特別な支援を要する生徒に割かれていますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい → 問 41 へお進みください。
- 2 いいえ

問34 対象学級での授業は、以下のどの教科等の分野に分類されますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 国語
- 2 数学
- 3 理科
- 4 社会
- 5 外国語
- 6 技術
- 7 音楽・美術
- 8 保健体育
- 9 道徳
- 10 家庭
- 11 総合的な学習の時間
- 12 その他

問35 対象学級には、現在何人の生徒が在籍していますか。

数字を記入してください。

□□ 人

問36 対象学級において、通常、以下のことに授業時間の何パーセントを費やしていますか。

各活動の割合を数字で記入してください。ない場合は0（ゼロ）と記入してください。

回答を合計して100%になるようにしてください。

- | | | | |
|-----|-------|---|-----------------------------|
| (1) | □□□□ | % | 事務的業務（出欠の記録、学校からのお知らせの配付など） |
| (2) | □□□□ | % | 学級の秩序・規律の維持 |
| (3) | □□□□ | % | 学習指導 |
| | <hr/> | | |
| | 100 | % | 合計 |

問37 対象学級での計画と指導において、あなたは以下のことについてどの程度主導権を持っていると思いますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 当てはま らない	当てはま らない	当て はまる	非常に良く 当て はまる
-------------------	-------------	-----------	--------------------

- (1) 教育課程の内容の確定 1 2 3 4
- (2) 教授法の選択 1 2 3 4
- (3) 生徒の学習の評価 1 2 3 4
- (4) 生徒のしつけ 1 2 3 4
- (5) 宿題の量の決定 1 2 3 4

問38 対象学級について、以下のことは、どの程度当てはまりますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く当て はまら ない	当て はまら ない	当て はまる	非常に良く 当て はまる
-------------------	-----------------	-----------	--------------------

- (1) 授業を始める際、生徒が静かになるまでかなり
長い時間待たなければならない 1 2 3 4
- (2) この学級の生徒は良好な学習の雰囲気を作り出
そうとしている 1 2 3 4
- (3) 生徒が授業を妨害するため、多くの時間が失わ
れてしまう 1 2 3 4
- (4) 教室内はとても騒々しい 1 2 3 4

問39 対象学級における指導について、以下のことをどのくらいの頻度で行いますか。

(1)～(16)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

ほとんど なし	時々	しばしば	いつも
------------	----	------	-----

- (1) 前回の授業内容のまとめを示す 1 2 3 4
- (2) 授業の始めに目標を設定する 1 2 3 4
- (3) 生徒に何を学んで欲しいかを説明する 1 2 3 4
- (4) 新しい学習内容と過去の学習内容がどのように関連しているか説明する 1 2 3 4
- (5) 明らかな解決法が存在しない課題を提示する 1 2 3 4
- (6) 批判的に考える必要がある課題を与える 1 2 3 4
- (7) 生徒を少人数のグループに分け、問題や課題に対する合同の解決法を出させる 1 2 3 4
- (8) 複雑な課題を解く際に、その手順を各自で選択するよう生徒に指示する 1 2 3 4
- (9) 教室でのルールを守るよう生徒に伝える 1 2 3 4
- (10) 自分の話を聞くよう生徒に伝える 1 2 3 4
- (11) 規律を乱している生徒を静かにさせる 1 2 3 4
- (12) 授業の始めに、すぐに静かにするよう伝える 1 2 3 4
- (13) 新しい知識が役立つことを示すため、日常生活や仕事での問題を引き合いに出す 1 2 3 4
- (14) 全生徒が単元の内容を理解していることが確認されるまで、類似の課題を生徒に演習させる 1 2 3 4
- (15) 完成までに少なくとも一週間を必要とする課題を生徒に与える 1 2 3 4
- (16) 生徒に課題や学級での活動に ICT（情報通信技術）を活用させる 1 2 3 4

問40 対象学級において、以下の生徒の学習評価方法をどのくらいの頻度で使いますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

ほとんど なし	時々	しばしば	いつも
------------	----	------	-----

- (1) 自ら評価を実施する 1 2 3 4
- (2) 生徒の学習成果に対して点数や評定による成績評価だけでなく、文書によるフィードバックを行う 1 2 3 4
- (3) 生徒に学習の進捗状況を自己評価させる 1 2 3 4
- (4) 生徒が特定の課題に取り組む様子を観察し、必要なフィードバックを即座に行う 1 2 3 4

多様な環境における指導

このセクションでは、文化的な多様性に重点を置いて、多様性を考慮した学校の方針や実践についてお尋ねします。

「多様性」とは、生徒や教職員の背景の違いを認識し、尊重することを指します。文化的な多様性とは、特に文化的、民族的な背景を指します。

問41 異なる文化を持つ生徒がいる学級の指導をしたことがありますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問43へお進みください。

問42 文化的に多様な学級を指導する上で、次のことをどの程度できていますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全くできていない	いくらかできています	かなりできています	非常に良くできています
----------	------------	-----------	-------------

- (1) 多文化的な学級での難題に対処する 1..... 2..... 3..... 4
- (2) 指導を生徒の文化的な多様性に適応させる 1..... 2..... 3..... 4
- (3) 移民の背景を持つ生徒と持たない生徒が共に活動
できるようにする 1..... 2..... 3..... 4
- (4) 生徒間の文化的な違いへの意識を高める 1..... 2..... 3..... 4
- (5) 生徒間の民族に対する固定観念を減らす 1..... 2..... 3..... 4

問43 あなたの学校には、異なる文化的又は民族的な背景を持つ生徒がいますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問45へお進みください。

問44 あなたの学校では、多様性に関する次のような実践が行われていますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 多様な民族的、文化的なアイデンティティを生徒が表現することを促す活動や組織を支援する（例：芸術的なグループ）1..... 2
- (2) 多文化的な行事を開催している（例：異文化と触れ合う学校でのイベント）1..... 2
- (3) 民族的、文化的な差別にどう取り組むかを生徒に教える1..... 2
- (4) カリキュラム全体を通して、地球規模の問題を取り入れた指導及び学習の実践を導入する1..... 2

学校の雰囲気、仕事に対する満足度

問45 この学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 当てはまら ない	当てはまら ない	当て はまる	非常に良く 当てはまる
-------------------	-------------	-----------	----------------

- (1) この学校は、教職員が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している 1 2 3 4
- (2) この学校は、保護者が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している 1 2 3 4
- (3) この学校は、生徒が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している 1 2 3 4
- (4) 学校の課題について、責任を共有する文化がある 1 2 3 4
- (5) お互いに助け合う協力的な学校文化がある 1 2 3 4
- (6) 教職員が、指導や学習についての信念を共有している 1 2 3 4
- (7) 教職員が、校内で一貫して生徒の行動に関する規則を守らせている 1 2 3 4
- (8) 教職員が、率先して新たな試みを行うよう促している 1 2 3 4

問46 この学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 当てはまら ない	当てはまら ない	当て はまる	非常に良く 当てはまる
-------------------	-------------	-----------	----------------

- (1) 通常、教員と生徒は互いに良好な関係にある 1 2 3 4
- (2) ほとんどの教員は、生徒の幸せが重要であると考えている 1 2 3 4
- (3) ほとんどの教員は、生徒の声に関心を持っている 1 2 3 4
- (4) 生徒が特別な援助を必要としている時、学校は支援している 1 2 3 4
- (5) 教員は互いに信頼しあうことができる 1 2 3 4

問47 今後何年間、教員として働き続けたいと思いますか。

数字を記入してください。

□□ 年

問48 あなたの学校で教員としての経験の中で、以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全くない	いくらかある	かなりある	非常に良くある
------	--------	-------	---------

- (1) 職務上のストレスを感じる 1 2 3 4
- (2) 私生活を送る時間を確保できている 1 2 3 4
- (3) 教員としての職務が精神的に悪影響をもたらしている 1 2 3 4
- (4) 教員としての職務が身体的に悪影響をもたらしている 1 2 3 4

問49 あなたの学校での業務に関して、以下のことはどの程度ストレスに感じますか。

(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く感じない	いくらか感じる	かなり感じる	非常に良く感じる
--------	---------	--------	----------

- (1) 多大な授業準備があること 1 2 3 4
- (2) 授業の数が多すぎる 1 2 3 4
- (3) 採点業務が多すぎる 1 2 3 4
- (4) 事務的な業務が多すぎる（例：書類への記入） 1 2 3 4
- (5) 教員の欠勤による追加的な業務があること 1 2 3 4
- (6) 生徒の学力に対して責任を負っていること 1 2 3 4
- (7) 学級の規律を保つこと 1 2 3 4
- (8) 生徒に脅迫されたり生徒から暴言を受けたりすること 1 2 3 4
- (9) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること 1 2 3 4
- (10) 保護者の懸念に対処すること 1 2 3 4
- (11) 特別な支援を要する生徒のために授業を適応させること 1 2 3 4

問50 あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 当てはま らない	当てはま らない	当て はまる	非常に良く 当て はまる
-------------------	-------------	-----------	--------------------

- (1) 教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い 1 2 3 4
- (2) もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい 1 2 3 4
- (3) 可能なら、別の学校に異動したい 1 2 3 4
- (4) 教員になったことを後悔している 1 2 3 4
- (5) 現在の学校での仕事を楽しんでいる 1 2 3 4
- (6) 他の職業を選んでいた方が良かったかもしれないと思う 1 2 3 4
- (7) この学校を良い職場だと人に勧めることができる 1 2 3 4
- (8) 教職は社会的に高く評価されていると思う 1 2 3 4
- (9) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している 1 2 3 4
- (10) 全体としてみれば、この仕事に満足している 1 2 3 4

問51 以下のことは、どの程度当てはまりますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く当て はまら ない	当て はまら ない	当て はまる	非常に良く 当て はまる
-------------------	-----------------	-----------	--------------------

- (1) 職務に対して支払われる給与に満足している 1 2 3 4
- (2) 給与以外の教員としての雇用条件に満足している
(例：福利厚生、勤務時間) 1 2 3 4
- (3) この国や地域では、教員の意見は政策立案者に高く評価されている 1 2 3 4
- (4) この国や地域では、教員は教育政策の決定に意思を反映できる 1 2 3 4
- (5) この国や地域では、教員はメディアに高く評価されている。 1 2 3 4

問52 中学校教育全体のことについてお尋ねします。もし予算が5%増加するとしたら、以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。

(1)～(9)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

あまり重要ではない	ある程度重要	非常に重要
-----------	--------	-------

- | | | | |
|-------------------------------------|---------|---------|---|
| (1) ICT への投資 | 1 | 2 | 3 |
| (2) 指導用教材への投資（例：副読本、問題集） | 1 | 2 | 3 |
| (3) 条件の不利な生徒や移民の背景を持つ生徒への支援 | 1 | 2 | 3 |
| (4) 教職員の増員による学級規模の縮小 | 1 | 2 | 3 |
| (5) 学校の施設設備の充実 | 1 | 2 | 3 |
| (6) 特別な支援を要する生徒の支援 | 1 | 2 | 3 |
| (7) 教員への高水準の職能開発プログラムの提供 | 1 | 2 | 3 |
| (8) 教員の給与増額 | 1 | 2 | 3 |
| (9) 補助的な職員の増員による、教員の事務的な業務の軽減 | 1 | 2 | 3 |

質問はここまでです。

御協力ありがとうございました。

校内締め切り日までに、校内担当者に御提出願います。